

5 領域とのつながりを明確化した支援内容⑤

< ⑤ 人間関係・社会性 >

児童発達/放課後等デイサービス・ネオライフ児童園

〜ねらい〜		
① 他者との関わり（人間関係）の形成 ② 自己の理解と行動の調整 ③ 仲間づくりと集団への参加		
〜具体的な支援内容〜		支援プログラム <一例>
アタッチメント（愛着行動）の形成	話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築いて行く。その信頼関係を基盤として友達や他の職員と安定した関係を形成するための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎時の個別の会話 ・ 製作（見本を見ながら作る、上手に作っている人の作品を見ながら作る） ・ おままごと ・ お店屋さんごっこ ・ おもちゃの貸し借り ・ SST（ソーシャルスキルトレーニング） ・ 帰りの会（自分の経験したことや思い、意見を発表する） ・ 集団遊び（鬼ごっこ・ボール当てなどルールのある遊び）
模倣行動の支援	遊びや活動の中で、他者の動きを模倣することから、社会性や対人関係がうまく築くことができるように支援する。	
感覚運動遊びから象徴遊びへの支援	感覚運動機能遊びを使った遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通じて、社会性の発達を支援していく。	
一人遊びから協同遊びへの支援	周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、支援者が介入して行う連合的な遊び、役割分担したり、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していく。	
自己の理解とコントロールのための支援	支援者は、子どもそれぞれの特性を理解し、一人ひとりに合わせた声かけ支援、行動支援を行う。できること、できないことなど、子どもが自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや感情のコントロールができていくよう支援する。	
集団への参加への支援	一人ひとりの状況や状態に合わせて、集団活動への参加を促す。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援していく。	